

戦 評

大会名 平成24年度全日本9人制バレーボールクラブカップ選手権大会
(32thデサントジャパンクラブカップ)岩手県予選会

男子決勝

奥州クラブ 2 $\left\{ \begin{array}{l} 21 \text{ --- } 15 \\ 21 \text{ --- } 10 \\ \text{ --- } \end{array} \right\} 0$ きたかみ

試合時間 時間 45 分

主 審 大山 幸司

副 審 佐々木 良子

戦 評

2年ぶり2回目の優勝を目指す「きたかみ」と、初優勝を狙う「奥州クラブ」との対戦となった決勝戦は、第1セット奥州クラブ9番菅原の絶妙なトスワークで波に乗り、リードを広げて行く。

これに対しきたかみは25番川原などの強烈なスパイクで反撃するが、一步及ばず第1セットを失った。

後のないきたかみは、第2セット3番小田島、17番鈴木のコンビなどをを使い巻き返そうとするが、レシーブが安定せず単調となり、なかなか奥州クラブの流れを止めることができず、逆に勢いづいた奥州クラブは幅のある攻撃で一気に点差を広げセットカウント2-0で初優勝を飾り、全国大会への出場権を手にした。

7～10行にまとめること。

戦評者 藤原 和紀
